

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公開番号】特開2004-317641(P2004-317641A)

【公開日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-044

【出願番号】特願2003-108961(P2003-108961)

【国際特許分類】

**G 0 3 F      7/42      (2006.01)**

**C 0 9 D      9/00      (2006.01)**

**H 0 1 L      21/027      (2006.01)**

【F I】

G 0 3 F      7/42

C 0 9 D      9/00

H 0 1 L      21/30      5 7 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

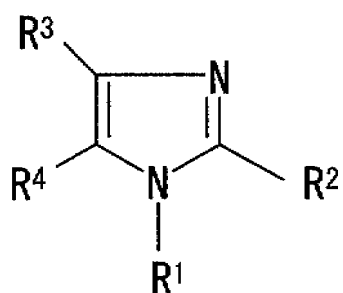
【補正方法】変更

【補正の内容】

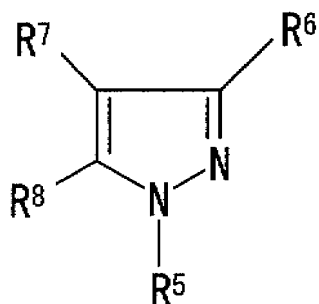
【請求項1】

(A)一般式(1)~(4)で示される化合物からなる群から選択される少なくとも1種の化合物、(B)フッ素化合物、及び、(C)水を含含有してなる非有機溶剤型レジスト剥離剤組成物。

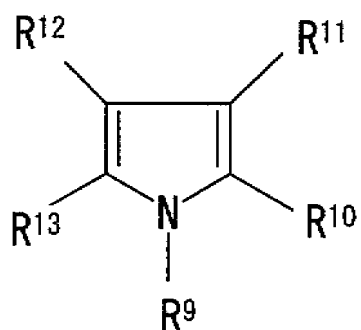
【化1】



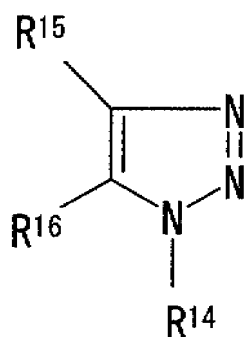
(1)



(2)



(3)



(4)

( R<sup>1</sup> ~ R<sup>16</sup> は、それぞれ同一または異なって、水素、炭素数 1 ~ 3 のアルキル基、炭素数 1 ~ 3 のアルコキシル基、炭素数 1 ~ 3 のヒドロキシアルキル基、アルデヒド基、ヒドロキシル基、フェニル基、炭素数 1 ~ 4 のアルケニル基、アミド基、炭素数 1 ~ 3 のアミノアルキル基、ハロゲン、又は、置換基を有していてもよい炭素数 7 ~ 9 のアラルキル基を表す。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

式中、 $R^1 \sim R^{16}$  は、それぞれ同一または異なって、水素、炭素数 1 ～ 3 のアルキル基、炭素数 1 ～ 3 のアルコキシ基、炭素数 1 ～ 3 のヒドロキシアルキル基、アルデヒド基、ヒドロキシ基、フェニル基、炭素数 1 ～ 4 のアルケニル基、アミド基、炭素数 1 ～ 3 のアミノアルキル基、ハロゲン、又は、置換基を有していてもよい炭素数 7 ～ 9 のアラルキル基を表す。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

一般式 ( 2 ) で表される化合物としては、例えば、ピラゾール、3 , 5 - ジメチルピラゾールなどが挙げられる。これらは 1 種又は 2 種以上を組み合わせ用いることができる。これらのうち、ピラゾールが好ましい。